

晩秋の候、朝夕寒冷を覚える季節となりました。
日頃はハート・プラスの会にご協力ご支援をいただきありがとうございます。

☆平成20年度社員総会開催☆

平成21年10月18日（日）（名古屋金山ワシントンプラザホテル会議室 13:30～）
滞りなく終える事が出来ました。（出席者11名 表決委任者43名）
お忙しい中、遠方からもご出席いただきありがとうございました。



☆活動報告

☆☆☆ファンドレイジングイベント『愛フェス2009』

9月5日・6日に日本初のファンドレイジングイベント「愛フェス2009」に参加しました。
「楽しむことが、誰かのためになる」をコンセプトに、NPO法人をはじめ85団体がそれぞれの活動を来場者にアピールし、来場者もイベントを楽しみながら寄付をするという新しい試みです。

会場になった「愛・地球博記念公園」大芝生は、テントの中にも暑い日ざしが入り込み、私たちスタッフも体調に気をつけながらの2日間でした。
ハート・プラスの会のテントでは「内部障害者とは」の資料展示とクイズ、正解者にはバルーンアートのプレゼントをしました。クイズは一般的な障害者福祉系のマーク9種類と、正式名を線で結ぶもの。意外と難しかったようですが、テント内に用意した正解のパネルをみて、真剣に覚えてくださいました。

また、保子様（福井県）のご協力で作成したCMは会場の大画面でも放映され、多くの方の共感を得ることができ後日「CM感動賞」をいただきました。

テント前のメッセージパネルにはたくさんの応援のメッセージをいただき、すごくうれしかったです。

☆☆☆ウォーク&ランフェスタ

～難病と取り組む仲間とともに 響け1万人の鼓動！～

9月27日の味の素スタジアムでの、ラン&フェスが終わりました。

入口で、内部障害者専用の入場口があり、ハート・プラスマークを渡しました。

味の素から内部障害者にプレゼントとして、味パンダのオルゴールが300個届きました。
内部障害者としてハート・プラスマークを配布した数は、50名でしたので、家族の方や付添いの方などにもプレゼントして、300個の配布をしました。

全体の参加者は3000名くらいで、少なかったのですが、ボランティアの方々が、750名集まりました。

ボランティアの運営マニュアルの中にハート・プラスマークの説明があり、ボランティア全員の方々にハート・プラスマークを知ってもらえたのが、良かったです。

☆☆☆東京都中央区福祉まつり

10月25日（日）中央区福祉祭りが終わりました。
今回は、ハート・プラスの会が、スタンプラリーの1つになったので、家族連れの子供たちも沢山来しました。

20歳以上の方々には、血管年齢の測定もしましたので、長い行列も出来ました。
血管年齢の測定者は、170名で、心電図のような脈拍の波形とコメントもプリントアウトできる精度の良い測定器です。
嬉しいほど忙しかったです。

☆☆☆ハートにプラス～内部障害への理解を求めて～

10月から来年2月にかけて、埼玉県福祉政策課と協働事業を行っています。
事業名：ハートにプラス～内部障害への理解を求めて～

この事業の一環として、福祉を目指す学生さんに「内部障害」を少しでも知り興味を深めてもらうための「福祉系大学セミナー第1弾」が11月11日（水）無事に終了しました。

場所となったのは「埼玉県立大学」（越谷）。
この大学は「保健・医療・福祉の連携と統合」に貢献できる人材を育成することを教育理念に掲げています。

今回の企画にご協力くださったのは社会福祉学科で介護系科目（午後1時から4時20分）を受け持っていていらっしゃる寫末憲子（しらすえのりこ）先生です。
先生は内部障害を持った患者との出会いを契機に看護から介護へシフトされたと伺い、まさに今回のテーマにうってつけの素晴らしい出会いとなりました。引き合わせくださった佐藤学長さんには感謝するばかりです。

対象となった2年生70名の学生さんに、県内に関係のある肺や腸などに障害を持つ3名の講師に話していただきました。日常生活での大変さ、制度、メンタルなサポートの重要性と、それには共感が必要不可欠である事など、初めて聞く内容にやや驚いた様子でした。

最後の30分は10名程に分かれた学生さんの中に講師や、患者会の当事者・関係者が入り学生さんからの素朴な質問に答えました。学生さん達から「もっと勉強しようと思った。」といった嬉しい意見もあり、関係者からは拍手♪

内部障害者福祉の10年後に期待した1日でした。

生徒さん達が提出した感想が纏まりましたら、また続きをご報告したいと思います。

☆☆協働事業今後の予定☆☆

- ・福祉系大学セミナー2 11月30日 10：30～聖学院大学
- ・川口市養護教諭の皆さんへのセミナー 12月2日水
16：30（予定）～18：30
川口中央ふれあい館 講座室1・2

☆☆講演

6月23日（水） 京都府建築士会福祉研究会で講演を行いました。

京都府の建築士の方たちがバリアフリーの建物づくり街づくりの参考にしようと内部障害者から直接話を聞く勉強会を開催されました。

駐車場のこと、トイレのこと、解りやすい表示など内部障害者が困っていることや要望したいことについての話をし、皆さん真剣に耳を傾けていただきました。

☆メディア

7月にテレビ大阪制作の「ボランティア21」でハート・プラスの会が紹介されました。

この番組は、毎回、ボランティアをしている団体をクローズアップして、その活動を紹介するもので、ほぼ全国で放映されています。

番組では、4人の内部障害者が登場し、それぞれの住む街でのハート・プラスマーク普及の活動の様子が紹介されました。



☆優先席

北九州市のモノレールとバスの優先席に5月からハート・プラスマークが掲示されました。

北九州市では、06年度から福祉ガイドや人権啓発パンフ、また小学校の福祉副読本にもハート・プラスマークを掲載し普及に努めてきました。

本年2月からは、カード仕様のマークを希望する内部障害者に交付しています。こうした継続的な行政による普及活動により、市民の理解も得られつつあるとの判断から、予算を計上して更なる実効性を増すために優先席にハート・プラスマークとマタニティマークをセットにしたステッカーを掲示することになりました。行政主導でマークの普及を目指す私たちにとって模範的な事例となっています。

☆駐車場

8月より群馬県で「思いやり駐車場利用証制度」(パーキングパーミット制度)がスタートし、その利用証の中にハート・プラスマークが表示されました。

現在、全国でパーキングパーミット制度を実施しているのは9県1市ありますが、利用証にハート・プラスマークが入ったのは、福井県に次いで2県目です。隣接県は相互利用できる場所もあり、これからの普及に期待したいものです。

【ご寄附御礼】

5月～10月まで、2団体15名の方より合計68,000円のご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。

【お知らせ】

事務局では「愛フェス」で分配された志金でハート・プラス紹介チラシを印刷しました。必要な方はメール、FAXで配布先等ご連絡ください。50枚単位で送付いたします。

【配信元】～内部障害者・内臓疾患者の暮らしについて考える～

NPO法人ハート・プラスの会

【連絡先】事務局 info@heartplus.org

FAX 052-711-0180

会員数 (H21.11.20) 正会員 69名・協力会員 28名